

1 本社・工場等新增設等支援制度

(1) 令和4年度申請分

企 業 名	株式会社CAPABLE
本 社 所 在 地	京都市南区上鳥羽苗代町16-1
事 業 地	京都市南区上鳥羽石橋町228番地
事 業 内 容	半導体用封止金型製造・販売
用 途	本社・工場
操業開始（予定）	令和5年12月
補 助 金 額	固定資産税及び都市計画税相当額（土地を除く）120%×3年分
概 要	高難易度である1/1000mm台の半導体用封止金型加工技術のノウハウを指導するためのトレーニングセンターを新設し、主要部品外注先を育成することで生産能力を増強させる。 また、生産スペースを確保し、ファブレスからファブライトへ業態転換し、短納期で優れた品質の金型の市場ニーズを取り込むことで更なる売上拡大を図る。

(2) 令和5年度申請分

企 業 名	京都美術化工株式会社
本 社 所 在 地	京都市伏見区横大路朱雀15-2
事 業 地	京都市伏見区横大路朱雀15-2
事 業 内 容	食品容器の製造
用 途	工場
操業開始（予定）	令和6年5月
補 助 金 額	固定資産税及び都市計画税相当額（土地を除く）120%×3年分
概 要	近年の脱プラスチックの流れで需要が拡大している食品に直接触れる容器を新たに製造するため、専用の生産設備とクリーンルームを導入した工場を新設する。 今後は、強みである表面化工技術を活用し、既存事業であるパッケージ製造と新たに取り組む食品容器製造事業を多角展開していく。

企 業 名	株式会社京洛製館
本 社 所 在 地	京都市南区吉祥院石原西町60番地1
事 業 地	京都市南区吉祥院石原西町61番地1
事 業 内 容	餡や菓子原料の製造
用 途	工場
操業開始（予定）	令和6年3月
補 助 金 額	固定資産税及び都市計画税相当額（土地を除く）100%×3年分
概 要	工場の新設と新たな設備投資により、オーダーメイドや小ロットでの製造の生産性の向上を図る。 今後は、ジャムやクリームなどの新たな菓子原料の製造にも取り組むことにより、事業拡大を図る。

企 業 名	株式会社光響
本 社 所 在 地	京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町 6 3 7
事 業 地	京都市伏見区竹田西段川原町 1 3 1 ・ 1 3 2
事 業 内 容	光・レーザー機器製造・販売
用 途	本社・開発拠点
操業開始（予定）	令和 6 年 4 月
補 助 金 額	固定資産税及び都市計画税相当額（土地を除く） 1 2 0 % × 3 年分
概 要	事業の拡大に伴い、積極的な人材採用を行っており、事業所の拡大が急務となっていたため、本社と研究開発の 2 拠点を集約する新たに拠点を設置する。 新たな拠点において、新製品の開発を推進することにより、事業の拡大と雇用の促進を図っていく。

企 業 名	第一工業製薬株式会社
本 社 所 在 地	京都市南区吉祥院大河原町 5
事 業 地	京都市南区東九条上殿田町 4 8 - 2
事 業 内 容	化学製品製造・販売
用 途	本社
操業開始（予定）	令和 6 年 8 月
補 助 金 額	固定資産税及び都市計画税相当額（土地を除く） 7 5 % × 1 年分
概 要	利便性の高い京都駅前に設置する新本社は、吉祥院の現本社・研究所のうち本社機能と、大阪支社の機能を統合し、本社及び営業拠点とする。 新本社は、人と人が集まる価値を作る空間とし、すべてのステークホルダーの利益貢献につながるよう活用していく。

企 業 名	株式会社フェイス
本 社 所 在 地	京都市伏見区淀際目町 2 9 7
事 業 地	京都市伏見区淀生津町 1 5 2
事 業 内 容	金属焼付塗装
用 途	本社・工場
操業開始（予定）	令和 6 年 6 月
補 助 金 額	固定資産税及び都市計画税相当額（土地を除く） 1 0 0 % × 3 年分
概 要	旧本社工場は手狭な状況であったため、拡張移転し、製造のキャパシティを増大させるとともに、一部工程を機械による自動化で行うのための設備投資を行う。 併せて、デジタル化を進め、効率化を図ることにより、利益率の向上や販路の拡大を目指す。

企 業 名	ボンドテック株式会社
本 社 所 在 地	京都府京都市南区吉祥院石原西町 7 7
事 業 地	京都市南区吉祥院宮ノ東 2 5
事 業 内 容	半導体製造装置開発・製造
用 途	本社・工場
操業開始（予定）	令和 6 年 1 2 月
補 助 金 額	固定資産税及び都市計画税相当額（土地を除く） 1 0 0 % × 3 年分
概 要	現本社工場が手狭になっているため、新たに本社工場を設置し、現在外注している組立の工程を自社で担う。 また、工場内に新たにクリーンルームを設けることで半導体前工程の装置の開発が可能となり、更なる事業拡大を目指す。

企 業 名	山市電機株式会社
本 社 所 在 地	京都市下京区塩小路通猪熊西入上夷町 6 1 2 番地 2
事 業 地	京都市南区上鳥羽藁田町 5 9 番
事 業 内 容	産業用モーターの設計開発、製造
用 途	本社・工場
操業開始（予定）	令和 6 年 2 月
補 助 金 額	固定資産税及び都市計画税相当額（土地を除く） 1 5 0 % × 3 年分
概 要	E V 化に伴う産業用モーター等の需要拡大に対応するため本社・工場を新設し、新たな生産設備を導入することにより、生産能力を拡大する。 これにより、モーター組立においては、従来、中軸であった中型クラスのみならず、近年受注が増加している大型・小型クラスの生産も強化する。

企 業 名	株式会社山元塗装工業
本 社 所 在 地	京都市南区久世殿城町 1 9 6
事 業 地	京都市南区久世中久世 4 丁目 1 8 - 1
事 業 内 容	金属製品の塗装
用 途	本社・工場
操業開始（予定）	令和 6 年 1 0 月
補 助 金 額	固定資産税及び都市計画税相当額（土地を除く） 1 0 0 % × 3 年分
概 要	本社工場を新設し、生産キャパシティの増大と新たな設備投資により、更なる品質及び生産性の向上を図る。 今後は、エネルギーマネジメントシステムや精密機器関連などの高品質を求められる市場にも販路を拡大していく。

2 京都型グローバル・ニッチ・トップ企業育成事業補助金

(1) 令和4年度申請分

企 業 名	株式会社秋江
本 社 所 在 地	京都市上京区堀川通上立売下ル北舟橋町835番地
事 業 地	京都市北区紫竹下ノ岸町37番地1
事 業 内 容	お守袋・縁起品の製造
用 途	作業所
操業開始（予定）	令和6年7月
補 助 金 額	固定資産税及び都市計画税相当額（土地を除く）100%×3年分
概 要	作業所を新設することにより、作業効率を向上させ、商品の品質安定化を図る。 今後は、雇用の増加や京都のパートナー企業を中心とした製品展開を行い、需要に対応する生産体制の構築を目指す。

企 業 名	株式会社三輪タイヤ
本 社 所 在 地	京都市山科区小野鐘付田町10-2
事 業 地	京都市伏見区横大路天王前1-145
事 業 内 容	タイヤ整備自動車整備・電源装置搭載特装車製造・倉庫業
用 途	本社・工場・倉庫
操業開始（予定）	令和5年10月
補 助 金 額	固定資産税及び都市計画税相当額（土地を除く）100%×3年分
概 要	新たに拠点を設置し、十分な作業スペースの確保と最新設備を導入することにより、作業効率を大幅に向上させるとともに、車載発電機装置組込特装車の生産に取り組む。 今後は、既存事業に加え、特許を持つため競合が無い車載発電装置組込特装車製造事業による高収益の確保を行い、研究開発型企業への成長を目指す。

(2) 令和5年度申請分

企 業 名	朝日レントゲン工業株式会社
本 社 所 在 地	京都市南区久世築山町376-3
事 業 地	京都市南区久世築山町376-3
事 業 内 容	X線撮影装置の開発・製造・販売
用 途	本社・工場
操業開始（予定）	令和7年12月
補 助 金 額	固定資産税及び都市計画税相当額（土地を除く）100%×2年分
概 要	生産性向上を図るため、本社・工場を建替え、強みである研究開発力や保守メンテナンスの機能向上のための実験スペースや設備を拡充する。 今後、X線の専門メーカーとしてX線技術の向上とともにAIも含めた画像構成技術をコア技術として事業の拡大を目指す。

企 業 名	株式会社K O Y O 熱錬
本 社 所 在 地	京都市南区吉祥院池田町 3 8
事 業 地	京都市南区吉祥院池田町 3 6 - 2
事 業 内 容	金属熱処理加工
用 途	本社・工場
操業開始（予定）	令和 6 年 7 月
補 助 金 額	固定資産税及び都市計画税相当額（土地を除く） 1 0 0 % × 3 年分
概 要	C O 2 排出量削減に寄与する航空機エンジン部品に参入するため、本社工場の増設を行い、規格に対応する熱処理加工部品の製造を行う。 今後は、自動車や航空機体部品で培った技術を生かし、大学との共同研究を行いながら高付加価値製品を手掛けていく。

企 業 名	大洋エレクトックス株式会社
本 社 所 在 地	京都市山科区勧修寺本堂山町 1 0 番地 1 5
事 業 地	京都市山科区川田御出町 3 2 番 1 5
事 業 内 容	自動欠陥検査装置の製造
用 途	事務所・工場
操業開始（予定）	令和 6 年 4 月
補 助 金 額	固定資産税及び都市計画税相当額（土地を除く） 1 0 0 % × 3 年分
概 要	検査装置の大型化や受注機会の増大に対応するため、工場を新設し、生産体制を強化する。 今後は、従来の技術に加え、ロボットを活用した装置の開発や A I を搭載した装置の開発等を加速させ、さらなる事業拡大を図る。

企 業 名	松田金属工業株式会社
本 社 所 在 地	京都市中京区壬生下溝町 3 5
事 業 地	京都市中京区壬生下溝町 3 8 - 1 、 3 8 - 2 8
事 業 内 容	ねじ・締結部品・金属加工品の販売・卸売
用 途	本社・倉庫
操業開始（予定）	令和 6 年 8 月
補 助 金 額	固定資産税及び都市計画税相当額（土地を除く） 1 0 0 % × 3 年分
概 要	倉庫を新設することで、格納・ピッキング・梱包・出荷の一連の業務スピードの向上による生産性の向上を図る。 今後は、強みであるオーダーメイド品も今まで以上に在庫格納できるようになることから、顧客からの受注に対して正確かつ迅速な対応を図っていく。